

平成29年度

地球環境「自然学」講座

第 3 回

テーマ

「ウスリータイガの自然と文化」

講師

NPO法人・タイガフォーラム代表

野口 栄一郎 先生

平成 29 年 5 月 13 日(土)

認定NPO法人・シニア自然大学校

講師プロフィール
野口 栄一郎
(のぐち えいいちろう)



早稲田大学第一文学部在学中から平和、国際交流、地球環境、エコロジー、野生生物の現状に関心をもって NGO でのボランティアをはじめ、同大学を卒業した 1995 年に国際環境 NGO FoE Japan に加わる。(同団体には 2011 年まで在籍)

FoE Japan のメンバーとしてロシアを旅し、研究者、先住少数民族、NGO の人びとと友人になりながらタイガの自然や文化、現状を知る。同団体メンバーとしてロシア極東の自然保護区への支援や日本のメディアへの協力をおこないながら、森やトラとともに生きる北方先住少数民族ウデへの人びとと出会う。

2000 年、自らガイド・案内役となってウデへの人びとや日本の旅行社とともにエコツーリズムの取りくみをはじめ、日本の NGO や企業にタイガ保護への参加を呼びかける。2004 年に株式会社リコーとの「タイガ保全プロジェクト」がスタート、2009 年に NGO と企業の協働する「タイガフォーラム」が立ち上がる。

2011 年からは「タイガフォーラム」のメンバー、実質的代表として、ウデへの人びとや株式会社リコーとともにウスリータイガの生態系と伝統を守るプロジェクト活動や交流、エコツーリズムのガイドをつづけながら、ドキュメンタリー映画『タイガからのメッセージ』（監督：三上雄己、2012 年作品）の撮影に関わる。

1971 年（昭和 46 年）京都生まれ。関西弁、標準語、英語、ロシア語、あとウデへ語をわずかに話します。ウスリータイガの自然と文化を一緒に知りましょう。

地球環境「自然学」講座レジュメ

- 講演タイトル：「ウスリータイガの自然と文化」
- 講演の意図：「北のジャングル」といわれるウスリータイガの自然と文化に出会いましょう。講師も知って驚いた北方の自然の魅力や、そこに生きる人々の物語り、日本との意外なつながりをご紹介しますながら、この自然のためにできることをお話しします

- 講演内容
 - 1) 自己紹介：ロシアで目にして驚いたことや今日お話ししてみたいこと
 - 2) はじめに：百年前、デルス・ウザーラという獵師がタイガでしたこととは？
 - 3) 北方のジャングル？ウスリータイガ。一万年の森
タイガとウスリータイガ / ロシア極東地域に残るウスリータイガの世界（写真）
 - 4) この森のために始められること
 - 5) ウスリータイガ、その特徴は？
朝鮮五葉松と広葉樹の混交 / ウスリータイガの生きものたち
 - 6) ウスリータイガの主、アムールトラとは
最も北に生息しているトラ / タイガの王者も楽じゃない
 - 7) ウスリータイガの開発：19世紀から今日まで
 - 8) ウスリータイガと日本がつながった？1992年の出来事
 - 9) 「ロシアのアマゾン」？野生の王国、ビキン川流域
 - 10) ビキン川流域のタイガを守ろうと声をあげたウデへの人々
 - 11) タイガとひとつになって生きる「森の人ウデへ」
 - そのルーツ、前史、人口
 - 世界観、精神文化、物質文化、言語、伝統、暮らし
 - 旧ソ連〜ロシアにおける存在
 - 12) ビキンのウデへ、ビキンウデへ
 - 写真や彼らのことば
 - 現代のウデへの人々の家族や食卓
 - 『ビキン川のほとりで』を読む
 - 13) ビキンのタイガ、自然を守るためにできること、大切なこと
 - ビキンウデへの人々とともに、現代の課題を考える
 - エコツーリズムなど、NGOの活動でできること
 - アムール・オホーツクの物質連環を知る

- 14) 国立公園 (ビキン国立公園、1万 1,000 平方キロメートル) の創設
- 15) ビキン川のほとりの村、クラスニヤール村の子どもたちからのメッセージ
- 16) ウスリータイガと私たちのゆくえは
- 17) おわりに： デルスのしてくれたことは？ 私たちのすることは？

□ ウスリータイガの自然と文化を知る図書・映画 DVD など

〔物語や読み物〕

- 「タイガを通過して - 極東シホテ-アリニ山脈横断記」 アルセーニエフ著
田村 俊介 訳 東洋文庫 786 平凡社 2009 年
- 「デルス・ウザラー」 V.K. アルセニエフ 著 安岡 治子 訳 小学館 2001 年
- 「どんぐりの雨 - ウスリータイガの自然を守る」 ミハイル・ デイメノーク 著
橋下 ゆう子・ 菊間 満 訳 北海道大学図書刊行会 (現 北海道大学出版会) 1997 年
- 「ビキン川にシマフクロウを追って - アムールの自然誌」
ユーリー B. プキンスキー 著 千村 裕子 訳 平凡社 1989 年
- 増補改訳 「ビキン川のほとりで」 アレクサンドル・ カンチュガ 著 津曲 敏郎 訳
北海道大学出版会 2014 年

〔文化人類学〕

- 「ロシア狩猟文化誌」 佐藤宏之 編 慶友社 1998 年 (児童文学、動物文学)
- 「黄金の虎 リーグマ」 フセヴォロト・ シソーエフ 作 パブリーシン 絵
岡田 和也 訳 新読書社 2001 年
- 「ツキノワグマ物語 - 極東ロシア・ アムールの動物たち」
フセヴォロド P. シソーエフ 岡田 和也 訳 森田 あづみ 絵 未知谷 2008 年

〔絵本〕

- 「鹿よ おれの兄弟よ」 神沢 利子 作 G.D. パブリーシン 画 福音館書店 2004 年

〔映画 DVD〕

- 「デルス・ウザーラ」 黒澤 明 監督 (1975 年作品)
- 「タイガからのメッセージ」 三上 雄己 監督 (2012 年、ドキュメンタリー作品)